

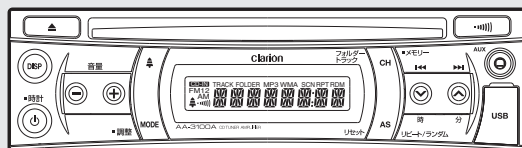
clarion

取扱説明書

保証書付

AA-3100A

AM/FM チューナー/CD/バスアンプ



このたびはクラリオン商品をお買い上げいただきありがとうございます。

- 安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 保証書はお買い上げの販売店にて記入しますので、「お買い上げ日、販売店名」などの記入をご確認のうえ、大切に保管してください。（保証書は、本説明書の裏表紙に付いています）

目次

はじめに

■ 本機の特長・仕様

本機の特長	4
仕様	5

■ ご使用の前に

安全上のご注意 必ずお守りください	6
スピーカー結線についてのご注意	7

■ 取扱上のご注意

本体のお手入れについて	9
表示画面について	9
CDについて	9

本機の使用

■ 基本の使用

電源を入れる	10
ソースを選ぶ	10
音量を調節する	10
時計を合わせる	10
アラームを合わせる	11
音質(バス/トレブル)・ フェダー・バランスを調整する	11

■ ラジオ放送を聴く

表示を切り換える	12
交通情報を聴く	12
手動選局する(マニュアル選局)	12
自動選局する(シーク選局)	12
プリセット選局する	12
放送局を登録する (プリセットメモリー)	13
自動メモリーする (オートストア機能)	13

■ CD/MP3/WMAを聴く

MP3/WMAファイルについて	14
CDの演奏について	15
ディスクを入れる	15
ディスクを取り出す	15
すでに入っているディスクを聴く	15
表示を切り換える	15
曲を選ぶ	16
早送り/ 早戻しする	16
フォルダを切り換える	16
リピート/ ランダム演奏	16

■ ガイドマイク(別売)を使う

マイクを接続する	17
マイクを使う	17
マイク音量を調節する	17

■ USBメモリー(市販品)のファイル を聴く

USB メモリーについて	18
USB メモリーを接続する	18
USB メモリーの操作について	19
USB メモリーの オーディオファイルを聴く	19
再生を終了する	19

■ ポータブルオーディオ(市販品)を聴く

ポータブルオーディオを接続する	20
ポータブルオーディオを聴く	20
音量を調節する	20

その他

■ 故障かな?と思ったら	22
--------------------	----

■ 画面にこんなメッセージがでたときは	23
---------------------------	----

■ 保証書とアフターサービス	24
----------------------	----

本機の特長・仕様

本機の特長

本機は観光バス用として新しく開発された電子チューナー/CD 内蔵の1DIN/バスアンプです。

■ ラジオ部

- ワンタッチでハイウェイラジオなどの交通情報が受信できる交通情報呼び出し機能
- AM6局、FM12局のプリセット機能
- ワンタッチで現在地の放送局がプリセットできるオートストア機能

■ オーディオ部

- 最大出力12W×4(8Ω負荷時)のハイパワーアンプ内蔵
- ポータブルオーディオなどが接続できるAUX端子を装備
- マイク使用によるガイド放送機能^{※1}。
- 便利なアラーム機能付き
- マスストレージクラスのUSBメモリーに記録したMP3/WMAフォーマットの音楽ファイル再生機能^{※2}。

※ 1 別売のマイクを、付属のマイク受け口、もしくは別売のマイクコントローラーを使用し接続します。

※ 2 USBメモリー(市販品)は、別売の延長USBケーブル(CCA-755-500)を使用し接続します。

■ CD部

- CD-R/RWに記録したMP3/WMAフォーマットの音楽ファイル再生機能
- リピート、ランダム再生機能

本機の特長・仕様

仕様

■ CDプレーヤー部

周波数特性	: 21Hz ~ 20kHz
S/N 比	: 65dB以上
総合歪率	: 0.4%以下

■ FMチューナー部

受信周波数	: 76.0MHz ~ 90.0MHz
実用感度	: 12dB μ V以下
S/N 比	: 50dB以上
周波数特性	: 100Hz ~ 7kHz
分離度	: 20dB以上
過大入力歪率	: 2%以下

■ AMチューナー部

受信周波数	: 522kHz ~ 1,629kHz
実用感度	: 34dB μ V以下
S/N 比	: 45dB以上

■ MP3/WMA部

セクタ構造	: CD-ROM モード1、 モード2- フォーム1 (自動判別)
論理フォーマット	: ISO9660 レベル1,2/ Joliet/Romeo/ Apple ISO
フォルダ数	: 最大255 フォルダ
ファイル数	: 最大255 ファイル
ファイル名	: 32 文字
フォルダ名	: 32 文字
(MP3)	
MP3 デコード	: MPEG-1、2、2.5 オーディオ レイヤー3 準拠

サンプリングレート (kHz):	
MPEG-1	: 32, 44.1, 48
MPEG-2	: 16, 22.05, 24
MPEG-2.5	: 8, 11.025, 12

ビットレート (kbps/VBR):	
MPEG-1	: 128, 192 ~ 320
MPEG-2	: 8 ~ 128, 160
MPEG-2.5	: 8 ~ 128, 160

(WMA)	
サンプリングレート(kHz)	: 8 ~ 48
ビットレート(kbps/VBR)	: 32, 48 ~ 192

■ USB 部

最大転送レート12Mbps でUSB1.1/2.0 互換	
フォルダ構造	: 8 階層
フォルダ数	: 最大1024 フォルダ (1 フォルダあたり最大9999 ファイル)
ファイル名	: 32 文字
フォルダ名	: 32 文字 (MP3)
MP3 デコード	: MPEG-1、2、2.5 オーディオ レイヤー3 準拠
サンプリングレート(kHz):	
MPEG-1	: 32, 44.1, 48
MPEG-2	: 16, 22.05, 24
MPEG-2.5	: 8, 11.025, 12
ビットレート(kbps/VBR):	
MPEG-1	: 32 ~ 144, 160 ~ 320
MPEG-2	: 8 ~ 160
MPEG-2.5	: 8 ~ 160
(WMA)	
サンプリングレート(kHz)	: 8 ~ 48
ビットレート(kbps/VBR)	: 16 ~ 384

■ AUX 部

周波数特性	: 20Hz ~ 20kHz
S/N 比	: 65dB以上
総合歪率	: 0.4%以下

■ オーディオ部

最大出力	: 12W $\times$ 4(8 Ω 負荷)
適合インピーダンス	: 8 Ω
トーンコントロール	
BASS	: +8dB, -8dB
TREBLE	: +10dB, -10dB

■ マイクアンプ部

周波数特性(マイク)	: 100Hz ~ 4kHz
S/N 比	: 60dB以上

■ 共通部

電源電圧	: DC 24V(21.6~31.2V)
接地方式	: マイナス接地
消費電流	: 7A以下
ヒューズ定格	: 7A
外形寸法	: 180(W) $\times$ 50(H) $\times$ 167.85(D) mm
質量	: 1.1kg

※これらの仕様およびデザインは、改善のため、予告なく変更する場合があります。

ご使用の前に

安全上のご注意 必ずお守りください

運転者や周囲の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、以下のように区分けして説明しています。これらは安全にご使用いただく上で重要です。以下の内容(表示・図記号)をよくご理解してから本説明書をお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分けし、説明しています。

 警告	「死亡または重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「傷害を負うおそれや、物的損害の発生のおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容の種類を次の「図記号」で区分けし、説明しています。

 (禁止)	してはいけない内容です。	 (注意)	注意しなければならない内容です。
 (必ず行う)	必ず行っていただく内容です。		

■使用上のご注意

警告



- 走行中は運転者による操作をしない…
運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 本機を分解したり、改造しない…
事故や火災、感電の原因となります。
- ディスプレイ部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない…
事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起こったときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談する…
そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。



- 本機の取り付け及び取り付けの変更は、安全のため、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に依頼する…
専門技術と経験が必要です。

ご使用の前に

⚠ 注意



(禁止)

- ディスク挿入口に異物を入れない…
火災や感電の原因となることがあります。
- 本機を車載用以外には使用しない…
感電やけがの原因となることがあります。
- 本機の放熱部に手を触れない…
火傷の原因となることがあります。



(注意)

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する…
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- ディスク挿入口に手や指を入れない…
けがの原因となることがあります。
- 電源を切るときは、音量を最小にする…
電源ON時に突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

スピーカー結線についてのご注意

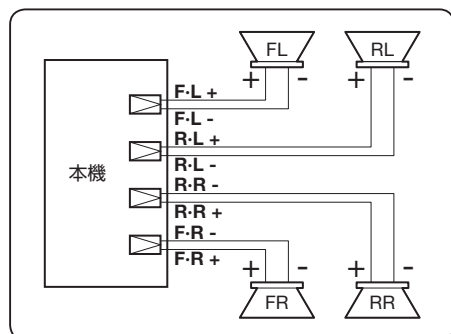
本機のパワーアンプはBTL方式を採用しています。従来のバスアンプに使用されているOTL方式とは異なり、スピーカーのマイナス側のラインはフロント、リア、Lch、Rchで全て独立する必要があります。

※ BTL方式とは Balanced Transformer Lessの略でブリッジ接続により各スピーカーのマイナス側を独立してアンプに戻すことにより、より高出力を実現したパワーアンプ駆動方式です。

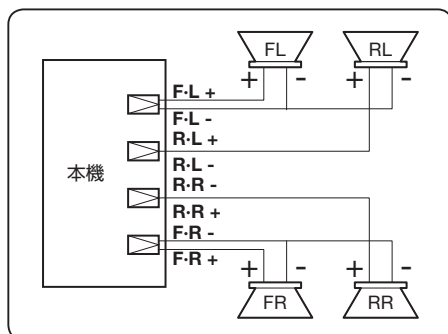
⚠ 注意

- 従来のバスアンプ (OTL方式) のようにマイナス側を共通に配線すると、アンプ回路は故障します。スピーカーのプラス側/マイナス側のラインは、フロント、リア、Lch、Rch全てのスピーカーで独立して接続してください。

■ 正しい接続例



■ 正しくない接続例

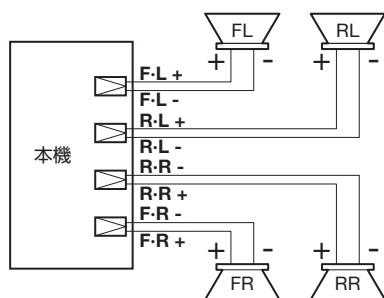


■ご使用の前に

■スピーカー結線例

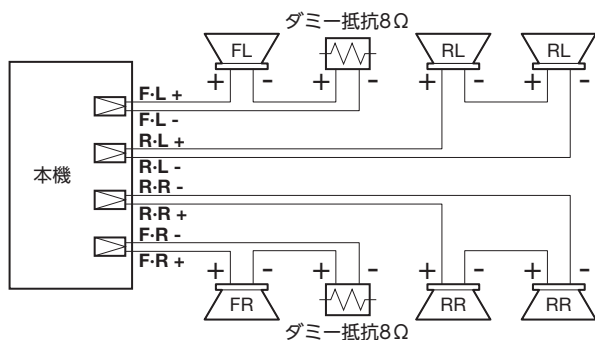
スピーカー4個結線（フロント、リアに各2個配置）

従来のバスアンプ（OTL方式）のようにマイナス側を共通に配線すると、アンプ回路は故障します。スピーカーのプラス側／マイナス側のラインは、フロント、リア、Lch、Rch全てのスピーカーで独立して接続してください。



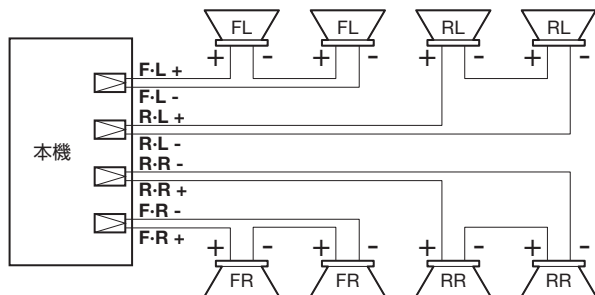
スピーカー6個結線（フロント2個、リアに4個配置）

- 従来のバスアンプ（OTL方式）のようにマイナス側を共通に配線すると、アンプ回路は故障します。スピーカーのプラス側／マイナス側のラインは、フロント、リア、Lch、Rch全てのスピーカーで独立して接続してください。
- スピーカーを6個結線する場合は、図の様にダミー抵抗 8Ω を追加し、直列に結線してください。各アンプの合成インピーダンスは 16Ω となります。
- 並列に結線すると、各アンプの合成インピーダンスは 4Ω となりアンプに負荷がかかり故障の原因となります。



スピーカー8個結線（フロント、リアに各4個配置）

- 従来のバスアンプ（OTL方式）のようにマイナス側を共通に配線すると、アンプ回路は故障します。スピーカーのプラス側／マイナス側のラインは、フロント、リア、Lch、Rch全てのスピーカーで独立して接続してください。
- スピーカーを8個結線する場合は、従来のバスアンプのような並列ではなく、直列に結線してください。各アンプの合成インピーダンスは 16Ω となります。
- 並列に結線すると、各アンプの合成インピーダンスは 4Ω となりアンプに負荷がかかり故障の原因となります。



取扱上のご注意

本体のお手入れについて

- 本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布に付けて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。



⚠ 注意

- 樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。部品変形により故障することがあります。
- 自動車用クリーナーなどは使用しないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

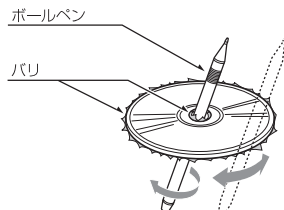
表示画面について

- 非常に寒いときに、画面の動きが遅くなったり、画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 液晶画面の表示色が、本体の熱や車内の温度によって変色することがありますが、液晶特有の現象で、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

CDについて

- マークのついたCDをご使用ください。
- CD-R/CD-RWを使用する場合は、音楽用CDR/CD-RWを使用してください。また、CD-R/CD-RWで記録されたディスクは、録音状態によっては使用できない場合があります。
- 各種コピーコントロールCDは、CD規格に合致しない特殊ディスクであり、弊社としてはCD再生機器における再生保証は致しかねます。万が一、このような特殊ディスクの再生に支障がある場合には、CDの発売元にお問い合わせください。

- 新しいディスクには、ディスクの周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなディスクをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。ディスクにバリがあるときは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。



■ 取扱上のご注意

- CD-R, CD-RWは、通常の音楽CDに比べ高温多湿の環境に弱く、一部のディスクでは再生できない場合があります。車室内に長時間、放置しないようにしてください。
- 記録面に、傷、指紋、ほこり、汚れ等をつけないように扱ってください。
- レーベル面(印刷面)や記録面にシール、シート、テープなどを貼らないでください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるCDは使用しないでください。そのままCDプレイヤーに入れると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

■ 保管時のご注意

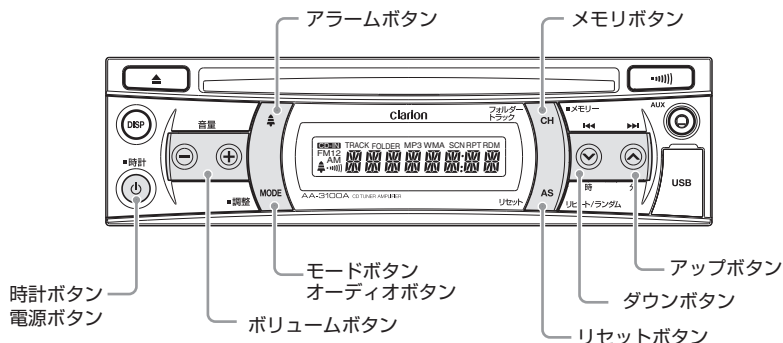
次のような場所には保管しないでください。

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房の熱が直接当たる場所

■ お手入れ

- 汚れたときには、やわらかい布で、内側から外側へ向かって、よくふいてください。
- 従来のレコードクリーナー液やアルコールなどでふかないでください。

基本の操作



■ 時計表示



■ アラーム時刻表示



電源を入れる

1 電源ボタンを押す



■ 電源を切るときは…

電源ボタンを押し続けてください。
(約1 秒間)

ソースを選ぶ

1 モードボタンを押す



→ 押すたびに、次のように切り換わります。

AM→FM1→FM2→CD/MP3*→USB*→AUX

*「CD/MP3」はCDが入っている時、「USB」はUSBメモリーが接続されている時に切り換わります。

音量を調節する

1 ボリュームボタンを押す



⚠ 注意

- 運転中は、車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

時計を合わせる

時計は12時間表示です。

1 時計ボタンを押し続ける(1秒以上)



→ 「ピッ」と鳴り、時計表示が点滅して、時計設定モードになります。

- 15秒間操作をしないと時計設定モードを解除します。

2 アップ/ダウンボタンを押して、時刻を合わせる



- ダウンボタン: 「時」
- アップボタン: 「分」

3 時計ボタンを押す

→ 時刻が設定されます。

■ 時報に合わせて時刻を合わせるには…

時計設定モード中に、リセットボタンを押す



- 分表示が00～29 の場合、分を切り捨てます。(例) 3:29→3:00
- 分表示が30～59 の場合、分を切り上げます。(例) 3:30→4:00

基本の操作

アラームを合わせる

本機は、指定した時刻になるとアラーム機能をはたらかせることができます。

1 アラームボタンを押す



→ アラーム時刻表示になります。

2 時計ボタンを押し続ける(1秒以上)



→ 「ピッ」と鳴り、マークが点滅して、アラーム設定モードになります。

- 15秒間操作をしないとアラーム設定モードを解除します。

3 アップ/ダウンボタンを押して、時刻を合わせる



- ダウンボタン: 「時」
- アップボタン: 「分」

4 時計ボタンを押し続ける(1秒以上)

→ マークが点灯し、アラームが設定されます。

■アラームの止めかた…

- いずれかのボタンを押す
- アラーム音は、3分間鳴り続けます。

■アラームのセット/解除するには…

- アラームボタンを押し続ける(2秒以上)
- 押すたびに、マークが点灯・消灯します。

音質(バス／トレブル)・フェダー・バランスを調整する

1 オーディオボタンを押し続ける(2秒以上)

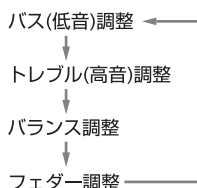


→ オーディオ設定モードになります。

2 メモリボタンを押す



→ 押すたびに次のように切り換えます。



- 5秒間操作をしないと元のモードに戻ります。

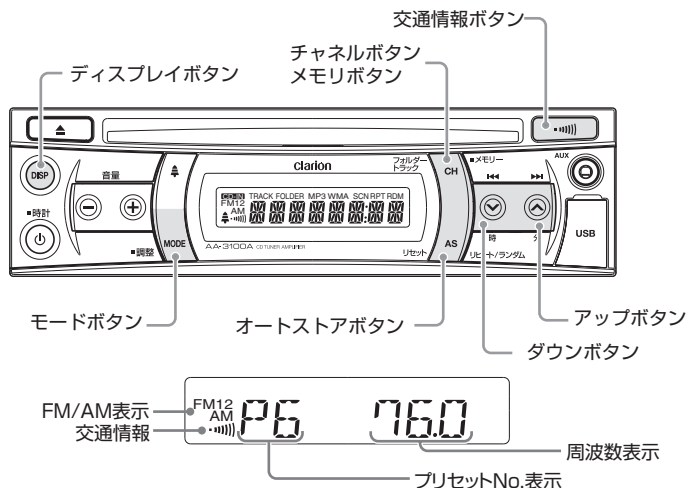
3 アップ/ダウンボタンを押して調整する



- フェダー調整は、アップボタンを押すとフロントスピーカーの音が強調され、ダウンボタンを押すとリアスピーカーの音が強調されます。
- バランス調整は、アップボタンを押すと右のスピーカーの音が強調され、ダウンボタンを押すと左のスピーカーの音が強調されます。

4 オーディオボタンをを押し続けて(2秒以上)、元のモードに戻る

ラジオ放送を聴く



表示を切り換える

1 ディスプレイボタンを押す



→ 押すたびに次のように切り換えます。

時計表示 → 周波数表示

交通情報を聴く

1 交通情報ボタンを押す



→ 交通情報放送局を受信し、マークが点灯します。

(初期値:AM1620kHz)

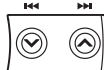
- アップ/ダウンボタンを押すたびに、AM1620kHz、AM1629kHzに切り換ります。

■元のモードに戻すには…

もう一度、交通情報ボタンを押してください。

手動選局する(マニュアル選局)

1 アップ/ダウンボタンを押す



→ 押すたびに、A M は9 k H z、F Mは0.1MHzずつ切り換ります。

自動選局する(シーク選局)

1 アップ/ダウンボタンを押し続ける



→ 「ピッ」と鳴り、放送局のあるところで、自動的に選局が止まります。

プリセット選局する

■プリセット選局について…

あらかじめメモリーしてある放送局を選局する機能です。

1 チャンネルボタンを押して、聴きたい放送局を選ぶ



→ ディスプレイにプリセットNo. と受信周波数を表示します。

ラジオ放送を聴く

放送局を登録する (プリセットメモリー)

■プリセットメモリーについて…

プリセットメモリーできるのは、FM1、FM2、AM 各6 局、合計で18 局です。

1 登録したい放送局を選ぶ

2 チャンネルボタンを押し続ける(2秒以上)



→ プリセットNo.と周波数表示が点滅します。

3 チャンネルボタンを押して、プリセットNo.を選ぶ

4 チャンネルボタンを押し続ける(2秒以上)



→ 「ピッ」と鳴り、プリセットNo.と周波数表示が1 回点滅して、登録されます。

- 登録後は、プリセットボタンを押して放送局を呼び出してください。

自動メモリーする (オートストア機能)

■オートストア機能について…

受信感度の良い放送局を自動的にプリセットメモリーへ登録をします。

1 モードボタンを押して、FMまたはAM を選ぶ



2 オートストアボタンを押し続ける(2秒以上)



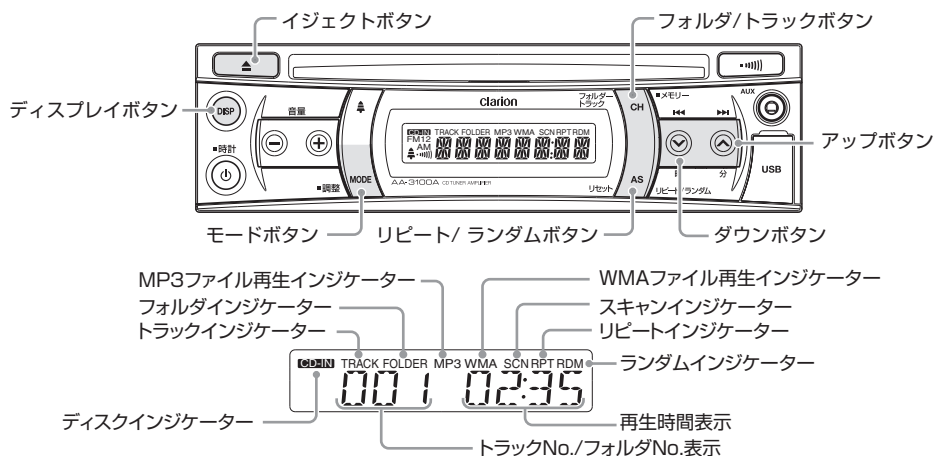
→ タイトル表示部に自動メモリー動作中のプリセットNo. を表示します。

- 自動的に、受信感度の良い放送局がプリセットNo.に登録されていきます。

ご注意

- 自動メモリーをすると、これまで登録されていた放送局は消去されます。
- 登録できる放送局が6 局に満たない場合は、受信できた局のみを登録します。1 局も受信出来ない場合は登録されずに元の状態に戻ります。

CD/MP3/WMAを聴く



MP3/WMAファイルについて

■ MP3 とは

MPEG 規格のオーディオ・レイヤー3(MPEG audio layer3) に分類される音声圧縮方式で、パソコンユーザーの間で同方式は標準フォーマットとして浸透しています。オリジナルの音声データを約1/10 のデータ量にまで圧縮でき、さらに高音質なのが特長です。1 枚のCD-R/RW ディスクに、CD 約10 枚分に相当する音楽を収録することで、ディスク交換不要の長時間再生が可能です。

■ WMA とは

- [Windows Media Audio]の略で、マイクロソフトが開発したオーディオファイルのことです。

■ DRM(著作権保護)の解除方法について

WMA のDRM(著作権保護)がON のままのファイルを再生した場合は、音声が出されません。以下の方法で解除してファイルを作成してください。

- Windows Media Player 10/11 ご利用時は、「ツール」「オプション」「音楽の取り込み」のタブで、「取り込みの設定」の中の「取り込んだ音楽を保護する」のチェックボックスをはずして、再度ファイルを作成してください。
- ※ 作成したWMA ファイルにおいては、個人の責任において実施してください。

■ ファイル作成時のご注意

再生可能なサンプリングレート、ビットレートについては「仕様」(5 ページ)をご覧ください。

ファイル拡張子

- ファイル拡張子には、必ず半角文字で拡張子「.MP3」「.WMA」「.mp3」「.wma」を付けてください。それ以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかった場合には、再生できません。

■ 論理フォーマット(ファイルシステム)

- MP3/WMA ファイルをCD-R/RW に記録する場合、ライティングソフトのフォーマット設定は[ISO9660(レベル1,2)]、Joliet、Romeo、Apple ISO]を選択してください。他のフォーマットで記録した場合には正常に再生しない場合があります。
- 同一フォルダ内に、同じファイル名を付けないでください。

■ TAG 表示について

- MP3/WMA 再生ではフォルダ名、ファイル名、TAG をタイトルとして表示することができます。表示できる文字コードはUTF-8、表示できる文字は半角英数字および一部の記号です。アルファベットは大文字のみの表示で小文字は大文字に変換されます。本機は漢字・ひらがな・カタカナ表示に対応していません。それ以外の文字を入力した名称は、正しく表示しません。表示できない文字のときは、「*」(アスタリスク)に置き換えます。
- TAG のないMP3/WMA ファイルは「NO TAG」が表示されます。
- MP3 の場合は、ID3-TAG V2.4/2.3/2.2/1.1/1.0に対応しています。TAG 表示V2.4/2.3/2.2を優先します。
- WMA の場合、アルバムTAG は、拡張ヘッダーに書き込まれた情報を表示します。

CD/MP3/WMAを聴く

■ ディスクの再生について

- 曲の再生はディスクに記録した順番に行われます(パソコン上で表示される順番通りに再生されるとは限りません)。
- 記録時のエンコーダーソフトによっては、若干ノイズが発生する場合があります。
- 読み込めないファイルは、そのファイルは飛ばして、次ファイルを再生します。

CDの演奏について

- 車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機を使用すると、CDや光学部品が曇って正常な動作を行わないことがあります。
- CDが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。また光学部品が曇っているときは、1時間ほど放置しておく、自然に曇りがとれ、正常な動作に戻ります。
- 本機は精密な機構を使用しているため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油したりすることはやめてください。
- CDを演奏中、振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。
- 8cmシングルCDは本機ではご使用できません。

ディスクを入れる

ディスクインプレイ機能について…

本機の電源が入っていない状態からでも、車のエンジンキーがON またはACC であればディスクを入れると、自動的に電源が入り、再生をはじめます。

ご注意

- CD 挿入口に手や指を入れないでください。また、異物を入れないでください。
- セロハンテープやレンタルCD のラベルなどの糊がはみ出していたり、はがした痕があるCD は入れないでください。CD が取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- ディスクがスムーズに挿入口に入らない場合は、本機に他のディスクが入っているか、修理が必要な場合が考えられます。
- CD-R またはCD-RW で記録されたディスクでも使用できない場合があります。

1 CD挿入口にディスクを入れる

→ 印刷面を上にしてディスクを入れると、自動的に再生が始まります。

ディスクを取り出す

■ バックアップイジェクト機能について…

本機の電源が入っていない状態からでもイジェクトボタンを押すと、ディスクを取り出すことができます。

1 イジェクトボタンを押す



→ CDがイジェクトされます。

- CDをエジェクトしたままにしておくと、約10秒後に自動的に引き込まれます。

すでに入っているディスクを聴く

1 モードボタンを押して、「CD/MP3」モードを選ぶ



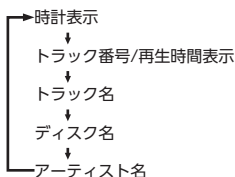
表示を切り換える

1 ディスプレイボタンを押して表示を選ぶ

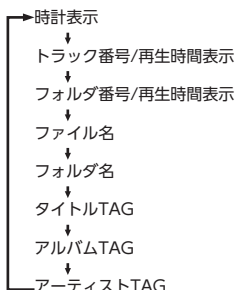


→ 押すたびに、次のように切り換わります。

■ 音楽CD 再生時



■ MP3/WMAディスク再生時



CD/MP3/WMAを聴く

曲を選ぶ

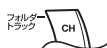
■ 音楽CD 再生時

- 1** 次の曲を聴くときは、アップボタンを押す
前の曲を聴くときは、ダウンボタンを2回押す

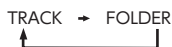


■ MP3/WMAディスク再生時

- 1** フォルダ/トラックボタンを押して、「[TRACK]」モードを選ぶ



→ 押すたびに次のように切り換ります。



- 初期設定は、「[TRACK]」です。

- 2** 次の曲を聴くときは、アップボタンを押す
前の曲を聴くときは、ダウンボタンを2回押す



- アップボタンを押すと、次の曲が演奏されます。また押した回数だけ先の曲が演奏されます。
- ダウンボタンを押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が演奏されます。

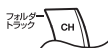
早送り/ 早戻しする

- 1** 早送りするときは、アップボタンを押し続ける
早戻しするときは、ダウンボタンを押し続ける



フォルダを切り換える

- 1** フォルダ/トラックボタンを押して、「[FOLDER]」モードを選ぶ



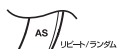
- 2** アップボタンを押したときは次のフォルダに、ダウンボタンを押したときは前のフォルダに移ります。



→ フォルダに移動して、フォルダ内の先頭の曲から再生します。

リピート/ ランダム演奏

- 1** リピート/ ランダムボタンを押す



→ 押すたびに次のように切り換ります。
リピート演奏(RPT) → ランダム演奏(RDM) → 通常演奏

■ リピート演奏:

→ 再生中の1曲を繰り返し再生します。

■ ランダム演奏:

→ (CD/MP3/WMAの場合)

ディスク内に収録されている全曲を順不同に再生します。

→ (USBメモリーの場合)

再生中フォルダ内に収録されている全曲を順不同に再生します。

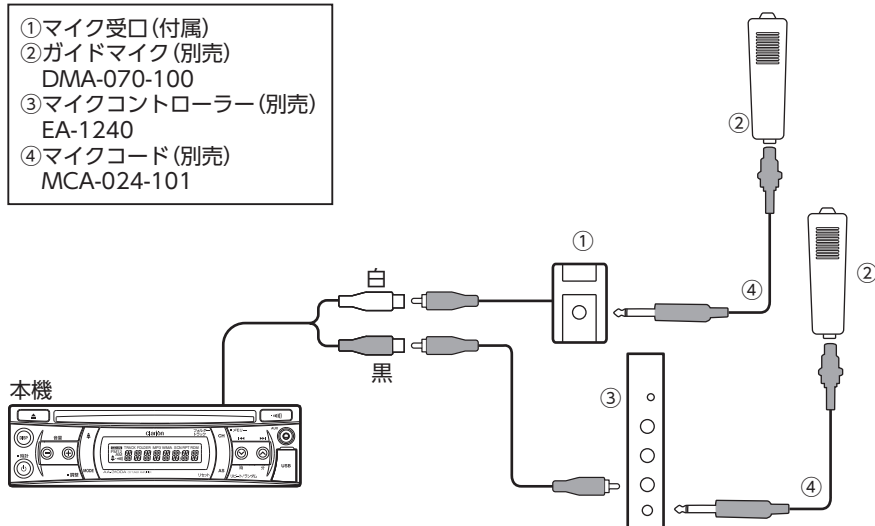
ガイドマイク(別売)を使う

本機に別売のガイドマイク (DMA-070-100)を接続し、案内放送を行うことができます。

マイクを接続する

- 1 付属のマイク受け口、または別売のマイクコントローラ (EA-1240) を本機に接続します。
- 2 ガイドマイクにマイクコード (MCA-024-101)を接続し、マイク受け口、またはマイクコントローラのマイク端子に接続します。

- ①マイク受口(付属)
 - ②ガイドマイク(別売)
DMA-070-100
 - ③マイクコントローラ(別売)
EA-1240
 - ④マイクコード(別売)
MCA-024-101



ご注意

- マイク受口への配線は、+電源線と出来るだけ離してください。
- マイクケーブルを接続した状態で、プラグに無理な力を加えないでください。
- マイク使用時もディスプレイには「AUX」と表示されます。
- マイク入力端子と正面パネルのAUX入力端子は同時に使わないでください。

マイクを使う

- 1 「マイクを接続する」の手順でガイドマイクを本機に接続します
- 2 モードボタンを押し、「AUX」モードを選びます



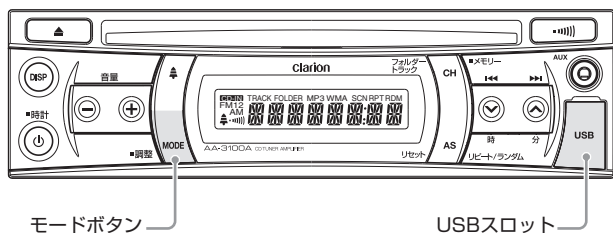
→ マイク音声が出力されます。

マイク音量を調節する

- 1 ボリュームボタンを押して、お好みの音量に調節します



USBメモリー(市販品)のファイル を聴く



USB メモリーについて

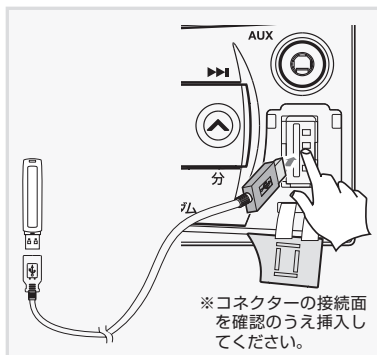
- 本機で再生できるオーディオファイルは、MP3/WMA ファイルです。詳しくは「MP3/WMA について」(14 ページ)をご覧ください。
- 本機のUSB スロットに接続をして再生できるUSBメモリーは、「USB マスストレージクラス」として認識されることが条件となりますが、すべてのUSBメモリーの動作を保証するものではありません。
※「USB マスストレージクラス」に準拠したデバイスは、特殊なドライバーやアプリケーションソフトを使用することなく接続するだけで使用できます。
- 使用するUSBメモリーが「USB マスストレージクラス」に準拠しているかは、USBメモリーの販売メーカーにお問い合わせください。
- セキュリティー機能の付いたUSBメモリーは再生できません。
- 本機は/パソコンとの接続には対応していません。また、USB ハブを介して接続することもできません。
- 2 つ以上のドライブで構成されているUSBメモリーは、どちらか一方のドライブのみを認識します。
- 接続するUSBメモリーによっては曲順などが変わってしまう場合があります(パソコン上で表示される順番通りに再生されるとは限りません)。
- USBメモリーで複数のパーティションがある場合、最後に作成したパーティションのみ認識し、他のパーティションは認識できません。

USB メモリーを接続する



- USB コネクタ部に異物を入れないでください。

1 USB スロットカバーを開ける



2 USB スロットに別販のUSB延長ケーブル(CCA-755-500)を使用して、USB メモリーを接続する

- 接続すると、USB メモリーに保存された最初のファイルから再生をはじめます。
- USB メモリーを認識しない場合は、モードボタンを押してソースを切り換えてください。
- USB メモリーとUSB延長ケーブルはコネクタの奥までしっかりと差し込んでください。差し込みが不完全だと、USB メモリーを認識しない場合があります。
- 収録されている曲数によっては読み込みに時間がかかる場合があります。

USBメモリー(市販品)のファイル を聴く

USB メモリーの操作について

この章は、USBメモリーを本機に接続したときの操作について説明しています。

次の操作はMP3/WMA ディスクと同様の操作です。

- 表示を切り替える
- 曲を選ぶ
- 早送り/ 早戻し
- フォルダを切り替える
- リピート/ ランダム演奏

「CD/MP3/WMA を聴く」(14 ~ 16 ページ)をご覧ください。

USB メモリーのオーディオファイルを聴く

- 1 モード ボタンを押して、「USB」モードを選ぶ



再生を終了する

- 1 モード ボタンを押して、USBモード以外のソースに切り換える



ご注意

- USB モード中にUSB メモリーを抜き取らないでください。USB メモリーのデータが破損する場合があります。
- 貴重なデータは必ずパソコンなどにバックアップデータを保存しておいてください。
- USB メモリーを車内に放置しないでください。直射日光や高温などの影響により、USBメモリーが変形したり故障する場合があります。

- 2 USB スロットからUSB メモリーとUSB延長ケーブルを取り外す

ポータブルオーディオ(市販品)を聴く

本機に市販のポータブルオーディオなどを接続して、音楽を聴くことができます。

ポータブルオーディオを接続する

- 1 市販の3.5mmステレオミニプラグコードを使用して、ポータブルオーディオを本機正面パネルの「AUX 入力端子」へ接続します

ご注意

- プラグを接続している状態で、プラグに無理な力を加えないでください。また、ポータブルオーディオを使用しないときには、プラグを抜いてください。

ポータブルオーディオを聴く

- 1 モード ボタンを押して、「AUX」モードを選ぶ



→ ポータブルオーディオに切り替わります。

音量を節調する

- 1 ボリュームボタンを押して、好みの音量に調節します



故障かな？と思ったら

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう一度次のことをお調べください。それでも直らない場合や不明な点がある場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。

	症状	考えられる原因	対処方法
共通	電源が入らない (音が出ない)	ヒューズが切れている	入っていたのと同じ容量のヒューズと交換してください。 再度切れる場合は、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		配線が不完全	お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	音が出なくなった	スピーカー保護回路が動作している	音量をもう少し絞ってお聴きください。 電源を再投入することで、音声出力は復帰します。
		CDメカニズム保護回路が動作している	スピーカー保護回路が動作した場合は自動的にボリュームが絞られます。再度、短時間で音が出なくなる場合は最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
ラジオ	雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しい周波数に合わせてください。
	自動選局で選局できない	強い電波の放送局がない	手動選局モードで選局してください。
CD	音飛びするノイズなどが入る	ディスクが汚れている	ディスクをやわらかい布でふいてください。
		ディスクに大きい傷やソリがある	ディスクを無傷なものに交換してください。
	電源を入れた直後音質が悪い	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴が付くことがあります。	電源を入れた状態にして1時間乾燥させてください。
USB	音が出ない	USBコネクターの接続が悪い	USBコネクターを抜き差ししてください。
		ファイルがMP3/WMAファイルではない	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用ください。
	USBメモリーが認識されない	USBメモリーが破損している	USBコネクターを抜き差ししてください。
		USBコネクターの接続が悪い	それでも認識しない場合には、新しいUSBメモリーと交換してください。
		動作状況により、本機とUSBメモリー、携帯オーディオが認識されない場合がございます。	
	USBメモリーが挿入できない	USBコネクターの挿入方向が間違っている	USBコネクターの向きを変えて挿入してください。
		USBメモリーのコネクターが破損している	新しいUSBメモリーと交換してください。

画面にこんなメッセージがでたときは

本機はシステム保護のため、自己診断機能を備えています。障害が発生したときは、各種のメッセージが表示されますので、対処方法に従って障害を取り除いてください。それでも同様のメッセージが表示されるときには、お買い上げの販売店にご相談ください。

	表示されたメッセージ	考えられる原因	対処方法
C D / M P 3 / W M A	MECH ERR	本機にディスクが引っかかって、イジェクトされないとき	ディスクスロットに異物があるかご確認ください。あったら異物をクリアして、再度エジェクトボタンを押してください。またエジェクトできない場合はお買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	FOCUS ERR	ディスクに傷などがあり、再生できないとき	傷やソリのないディスクと交換してください。
	DISC ERR	ディスクを裏返しに入れ、再生できないとき	ディスクをイジェクトし、正しく入れ直してください。
		ブランクディスク(無録音)を入れたとき	録音されているディスクと交換してください。
	FILE ERR	ディスクに拡張子「.MP3」「.WMA」「.mp3」「.wma」を付けたファイルがMP3/WMAファイルではない	正しいMP3/WMAファイルをご使用ください。
	DRM ERR	ディスクにDRM(著作権保護)ファイルがあります	DRM(著作権保護)を解除してください。
U S B	HOT ERR	内部が高温になり、CDメカニズム保護回路が動作したとき	一度電源をきり、内部が冷えてから再度電源を入れてください。
	HUB ERR	本機にUSBハブを接続したとき	本機は、USBハブのご使用はできません。
	USB ERR	挿入されたUSBメモリがプロファイル或はファイルシステムをサポートしない	正常的に再生できるUSBメモリを挿入してください。
	READ ERR	USBメモリが異常で、操作できない	正常的に再生できるUSBメモリを挿入してください。
	FILE ERR	デバイスに拡張子「.MP3」「.WMA」「.mp3」「.wma」を付けたファイルがMP3/WMAファイルではない	正しいMP3/WMAファイルをご使用ください。
	DRM ERR	デバイスにDRM(著作権保護)ファイルがあります	DRM(著作権保護)を解除してください
	NO FILES	デバイスにM P 3 / W M Aファイルがない	デバイスにMP3/WMAファイルを正しく書き込んでください。

上記以外のメッセージが表示されたときは、本体の電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

保証書とアフターサービス

■ 保証書

この商品には、保証書が本取扱説明書の裏表紙に付いています。お買い上げの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■ 保証期間

お買い上げの日より1 年間です。

■ 万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。ただし、脱着にともなう工賃は、お客様のご負担となります。お買い上げの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

■ 保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後6 年保有しています。

■ ご質問・ご相談について

本機に関するご質問・ご相談は、最寄りの弊社修理相談窓口または弊社お客様相談室にお問い合わせください。

品名 AM/FM チューナー /CD/ バスアンプ
 型名 AA-3100A

製造番号

本書は、本書記載内容で無償修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障して無償修理を受ける場合は製品と本保証書をご持参、ご提示の上お買い上げの販売店にご依頼ください。
 尚、ご転居等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理が依頼できない場合は、最寄の弊社修理相談窓口にご相談ください。

※1 保証期間	お買い上げ日 年 月 日より 1年間
※2 お客様	ご住所 お名前 電話

※1 保証期間/販売店欄に記入のない場合は、ご購入年月日と購入製品型名が確認できるレシート、領収書の添付がないと無効となります。
 ※2 お客様欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

クラリオン株式会社 〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心7-2

※1 販売店	住所・店名	TEL. ()
-----------	-------	----------

無償修理規定（必ずお読みください）

- 取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常使用状態で故障した場合には保証期間内に於いて、お買い上げの販売店、又は弊社のサービスネットワークにて無償修理致します。
- 保証期間内に故障して無償修理を受ける場合は、製品と本保証書をご持参、ご提示の上お買い上げの販売店にご依頼ください。又、出張修理に際しては本保証書のご提示をお願いします。尚、離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理の場合は、出張に要する実費を申し受けます。保証修理した際に取外した部品は弊社の所有となりますのであらかじめご了承ください。
- ご転居等で、本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理が依頼できない場合には、最寄の弊社修理相談窓口へご相談ください。
- 保証期間内で次の場合には有償修理、又は修理不能となりますので、あらかじめご了承ください。
 - ご使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障又は損傷。
 - お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障又は損傷。
 - 地震、風水害、落雷等の天災並びに火災、公害、塩害、ガス害、水漏れ、異常電圧等による故障又は損傷。
 - 本保証書の提示がない場合。
 - 本保証書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名など、所定事項の記入がない場合（購入日と製品名が明確に判る販売店レシート、領収書がある場合を除く）、又は記載文字を書換えられた場合。
 - 正常なご使用方法でも消耗部品（電池含む）が自然消耗、摩耗、劣化した場合及びピックアップレンズ、表示器等の清掃。
 - 接続している他の機器、又は不適当な消耗品やメディアのご使用に起因して本製品に生じた故障・損傷の場合。
 - お客様が設定したパスワード忘却の場合。

⑤お客様がパソコンや通信端末等に接続した結果、本製品へウイルス感染した場合。

5 本保証書は、日本国内に於いてのみ有効です。
 (This warranty is valid in Japan)

6 本保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

7 お客様にご記入いただいた保証書の控えは、個人情報保護法に基づき保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用して頂く場合がございますので、ご了承ください。

修理
メモ

※本保証書は本書に明示した期間条件のもとに於いて無償修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店、又は弊社修理相談窓口にお問い合わせください。

※記憶媒体に保存されたお客様のデータ、プログラムならびにネットワークを通じてサーバーから受信したデータ、プログラムの消失、破損、変更等につきましては、当社は一切責任を負いません。お客様は、修理をご依頼される前に、お客様の責任に於いてバックアップをとっていただくものとします。

※修理期間中の対象機器の使用不能による機会損失、二次的弊害等は、一切責任を負わないものとします。

クラリオン株式会社

〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心7番地2

Clarion ホームページ

<http://www.clarion.com>

お問い合わせは、クラリオン「お客様相談室」へ

フリーダイヤル ☎ 0120-112-140

受付時間：9:30～12:00、13:00～17:00

（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

保証書で以下内容を正確に頂くと、スムーズな対応ができます。

お買い上げ日、販売店名、製品型名